

# 町長あいさつ

## 健康長寿の町づくり実現に向けて

精華町長 杉浦 正省

新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は、町行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

公益社団法人精華町シルバー人材センターの活動は、平成15年3月に発足されて以後、就業を通じて、高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されております。また地域社会の活性化・福祉の向上にも貢献していただいていることに深く敬意を表すところでございます。

さて、急速に少子高齢化が進むなか、高齢者の方々がいつまでも元気で、地域社会の支え手として活躍できる「生涯現役社会」の実現には、シルバー人材センターの果たされる役割はますます重要になるものと考えております。地方創生の先陣を切る担い手として大きな期待を寄せております。

毎年、多くの仕事が、地域の皆さまからシルバー人材センターへと寄せられていることは、会員の皆さま方への信頼の表れであり、何よりも誇れる勲章ではないかと存じます。このことは眞島勝理事長さまをはじめ、役職員と会員の皆さまのご努力が、住民生活の中

にしっかり根を下ろした結果だと、たいへん喜んでいただいております。

精華町といたしましても、高齢者が豊かな知識や能力を生かし、社会を支える一員として、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援してまいりたいと考えております。

今後も、シルバー人材センターにおかれましては、変化する社会情勢にあわせ、会員皆さまの健康増進にもつながる諸事業のさらなる充実をめざしていただくとともに、会員皆さまが仲間づくりや事業活動を通じて人生の質を高めていただき、精華町が進める『健康長寿のまちづくり』の一翼を担っていただけるよう大いに期待いたしております。

結びに、公益社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご隆盛と、会員皆さまのご活躍とご健康を衷心よりご祈念申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。

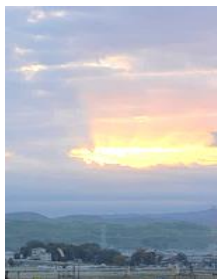


## 理事会等のうごき

令和元年度 第3回理事会 令和元年12月17日(火)

第11号議案 職員給与規程の一部改正について

第12号議案 令和元年度第二次収支補正予算(案)について  
全議案を可決しました。



### 表紙写真のひとつ

<柞ノ森、祝園神社、1250回を数えるいごもり祭>

早朝、祝園に現れた光芒は、いごもり祭の大松明の火のようでした。昔、祝園には「祝園七森」という七つの森があったそうです。それは、柞ノ森・出森・幸ノ森・若森・天神ノ森・弁天森・藤小森のことだといわれ、現在でも地名として残っているところは4箇所です。祝園小字柞ノ森1番地は氏神様(祝園神社)をお祭りしてある地です。今も森らしさが残っている唯一の所です。『祝園神社御由緒並に祝園と斎(いごもり)の名の由来について』によると、人皇第十代崇神天皇の御代、第八代孝元天皇の皇子、武埴安彦(たけはにやすひこ)が朝廷に反逆を企て遂にこの地に於いて討伐されたが(記事参照)、亡魂、柞ノ森に止り、人民を悩ませしを第45代聖武天皇、これを撲滅せんとするも鬼神の所業なれば、人民にて如何ともなり難く、後年48代称徳天皇の御代、神力を以てこれを撲滅せよとの勅命により池田六良広綱、宮城七良朝藤が、祝部(はふりべ)となり、神護景雲4(770)年1月21日春日の大神を御勧請し創祀された。而(しか)して斎戒沐浴精進祈願により、(これが今に伝わるいごもりの始まり)神力の擁護の基に遂に悪霊撲滅の難業なり、広綱、朝藤の功と相俟ってようやく悪病平癒、人民安堵、農家の繁栄、商工業の隆盛を見るに至った。と記されています。ここから数えると、いごもり祭は今年で1250回になります。保存会の皆さまが守っておられるこの伝統行事は、毎年正月の申(さる)の日から3日間(1月に申の日が3回ある年は中の申の日、2回の年は初めの申の日から)行われ、今年は1月18日から始まり「大松明の巡行」は19日(日)の夜7時からです。厳かな伝統行事です。今年是非ご覧ください。

撮影場所：精華町祝園小字柞ノ森

撮影：清水泰律